



Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2770

1月 職業奉仕月間



**UNITE
FOR
GOOD**

よいことのために手を取りあおう

Vol.07

01

month
2026

UNITE FOR GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう



ガバナーご挨拶

2025-2026年度
第2770地区 ガバナー
熊木 雄太郎 (戸田)

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、それぞれの地域とクラブにおいて、日々ロータリー活動にご尽力いただいていることに、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて今月は職業奉仕月間です。

職業奉仕はロータリーにしかない概念だと言われています。人のお役に立ちたいという良質な職業人がお客様の立場に立って質の高いサービスを提供し喜んで頂くことが自身の喜びとなるような高い倫理の向上に努め、その思いと実践を世の中に広めていくこと。各クラブ内でも改めて職業への喜び、楽しさ、こだわりを語る時間を設けて頂きたいと願います。

今年度も後半に入り、各グループにおいてはIM(インターシティミーティング)が順次開催準備が行われていることと思います。またクラブの枠を越えた交流と学び、そして奉仕への新たな気づきが生まれることを大いに期待しております。また、次年度に向けた準備が進む中、周年を迎えられるクラブの皆さまには、これまで積み重ねてこられた歴史と実績に、深く敬意を表します。

今年度も引き続き、ロータリーの原点である「奉仕」と、未来を担う「人づくり」に力を注ぎ、一人ひとりの行動を通して地域に希望と活力を届けてまいりましょう。地区としても、クラブ間の連携をさらに強め、互いに支え合い、高め合える環境づくりに努めてまいります。

残りの年度が、皆さまにとって実り多きものとなり、第2770地区がさらに輝く一年となりますことを心より祈念し、新年のご挨拶といたします。

ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 10 日

蓮田 RC

会長 深江 瑞枝 / 幹事 金子 淳美

2025年10月1日(水)魚庄別館にて国際ロータリー第2770地区熊木ガバナー、第7グループ関ガバナー補佐、萩原地区副幹事をお迎えして、11時～12時 熊木ガバナーとの懇談会を開催しました。

蓮田ロータリークラブからの出席者は、会長 深江瑞枝、幹事 金子淳美、会長エレクト 小林健男、副幹事 伏見晴雄です。熊木ガバナーは、蓮田ロータリークラブの年度計画書をととても良く読み込んでおり、びっくりしました。会員増強についてはロータリーの友8月号に掲載されている『戦略的オープン例会10のポイント』の記事を活用する、出席率の向上については理事役員会もカウント出来る事など色々教示を受けました。また、蓮田RCとしては財団の大口枠についての実施状況の情報開示を求め、熊木ガバナーからは財団委員会に伝えるとの回答を得ました。懇談会の内容はとても有意義だったため、会員にも公開します。

12時30分から例会、クラブ協議会は委員長だけではなく、会員にも広く質問の機会を与えられ活発に論議が交わされ、ガバナーの革新性を感じました。新会員もベテランの会員もとても良い刺激となり、55周年事業を会員増強に繋げたいとの決意を新たにしました。ありがとうございました。



ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 2 日

浦和東 RC

会長 岡村 一巳 / 幹事 菅原 卓

2025年10月2日(木) RI第2770地区2025～26年度熊木雄太郎ガバナーをお迎えし、公式訪問例会及びクラブ協議会を開催致しました。

公式訪問例会ではプロジェクターを使用しながら、熊木ガバナーより「RIテーマと地区運営」について分かり易く卓話を頂きました。例会時、短い時間の中でも一人一人の会員に響くよう熊木ガバナーよりお話いただき、和やかにご歓談いただくお姿が大変印象的でした。

クラブ協議会では、会計・SAA・7つの常任委員会18の委員会、2つの特別委員会より29名及び理事2名、オブザーバーとしてバスター会長や一般メンバーも参加し約40名にて協議会を開催致しました。年度計画を基に年度計画書には書ききれない委員長の思いや活動現況について、各委員長より発表致しました。熊木ガバナーより、各常任委員会及び各委員会へ丁寧にアドバイスやご指導また激励を頂き、約2時間の協議会でしたが、終始和やかな中にありながら、各委員長並びにクラブにとって非常に有意義な協議会となりました。結びに大倉ガバナー補佐にも講評いただきました。

熊木雄太郎ガバナーまたご同行頂きました大倉ガバナー補佐、福永地区幹事、田中地区副幹事、誠に有難うございました。



ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 8 日

鴻巣水曜 RC

会長 山口 光男 / 幹事 柿沼 洋一

熊木ガバナーを迎えて、初めに会長幹事懇談会を行いました。1時間を超えての懇談会、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。

その後、例会が始まり、10月に入会した二人の会員にガバナーからロータリーのバッヂを着けていただきました。中々ガバナーからバッヂを着けて頂く事は、ありませんので二人の会員にとって、これから始まるロータリー活動に対して大きな励みになると思います。

熊木ガバナーからの卓話は、世界のロータリーや第2770地区のこと、地区の役割等、多くの会員が理解したものと考えます。また、クラブ協議会においてもガバナーからのご指導を賜り、クラブ会員も満足できた公式訪問例会であったと考えます。



ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 9 日

大宮南 RC

会長 羽田 しげみ / 幹事 岸 雅則

2025年10月9日(水)、熊木ガバナー、中村ガバナー補佐をお迎えし、当クラブにおけるガバナー公式訪問を開催いたしました。

例会に先立ち、午前11時より会長(羽田)、幹事(岸)、会長エレクト(大沢)による懇談会を実施しました。懇談会では、当クラブの現状や今後の方向性について率直な意見交換が行われ、熊木ガバナーより今後のクラブ運営に関する具体的な助言と温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。中村ガバナー補佐からも貴重なご意見をいただき、クラブ運営の在り方を改めて考える良い機会となりました。

続く例会では、RIおよび地区の方針について熊木ガバナーより大変わかりやすくご説明いただき、会員一同が新年度の方針への理解を深める有意義な場となりました。



またクラブ協議会では、各委員長より活動方針の報告を行い、熊木ガバナーからは丁寧で的確なアドバイスを賜りました。終始和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、クラブの一体感と今後の活動への意欲がさらに高まる充実した一日となりました。

熊木ガバナー、中村ガバナー補佐をはじめ、ご同行いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今回のご指導を今後のクラブ運営にしっかりと活かし、さらなる発展を目指してまいります。

ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 14 日

さいたまシティ RC

会長 小林 宏幸 / 幹事 木川 真

熊木雄太郎ガバナー、上野拓也第2グループガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を行いました。

懇談会の席では、ガバナーから会員増強についてリストアップすることや勧誘から入会まで時間をおかず早くクロージングしていくこと等のアドバイスや現状のクラブの課題等に対する解決のヒントや他クラブの取り組み等をアドバイスいただきました。

例会では、会長挨拶から始まり、例会プログラムでは熊木ガバナーの卓話の中でRI会長の目指すもの、2770地区の目指すものを話されました。



クラブ協議会では各委員長による計画の発表に加え、今年度クラブで強く取り組んでいきたいと考えている会員維持増強、委員会活動に関する意見を、エピソード等を交え発表し、ガバナーとの活発な意見交換やアドバイスがあり、クラブにとって貴重な機会となりました。

ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 15 日

浦和北 RC

会長 黒木 順一 / 幹事 菅谷 義治

令和7年10月15日(水)第2770地区ガバナー熊木雄太郎様をお迎えして公式訪問が開催されました。

懇談会ではクラブの現状、会費・財務の見直し、会員増強策など幅広い課題の方向性を共有しました。クラブ協議会では、委員会の活動方針に対して、ご指導と講評を頂戴いたしました。1日を通じて数多くの学びを得ることができました。

最後に終日ご臨席賜りました熊木ガバナー、上野ガバナー補佐、赤塚地区副幹事、山田ガバナー補佐幹事、大変ありがとうございました。



ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 21 日

八潮 RC

会長 松田 和子 / 幹事 森 猛

熊木ガバナー公式訪問では、役員との懇談会・例会・クラブ協議会にて『会員増強・クラブの活性化・クラブの課題・戦略計画・奉仕活動』について、現況報告や今後の課題、展望等様々な意見を担当者含め多くの会員からの発言がありました。

それに対し、ガバナーより御丁寧なご助言を戴き、若い力で頑張りたいとの温かい激励も頂戴致しました。会員を代表し、心より感謝申し上げます。

今回のご指導を今後のクラブ運営にしっかりと活かして参ります。



ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 22 日

大宮 RC

会長 大竹 敦 / 幹事 小坂 良二

10 月 22 日(水)、パレスホテル大宮にて熊木雄太郎ガバナー、中村芳彦第3Gガバナー補佐、細田善則地区副幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

事前の懇親会では当クラブの現状や本年度のクラブ運営で重点を置く三つの柱について説明した後、会員増強につながる具体的取り組み事例や柔軟な考え方を取り入れた新たな会員区分の設定も有効な手段であることなど詳細にご説明いただきました。例会では、2名の新入会員の入会式を行い、熊木ガバナーより直接バッヂを付けていただきロータリアンとしてのスタートをきることができました。

例会後のクラブ協議会では大竹会長の司会進行のもと事前に十分時間をかけ準備した討議内容を各委員長から報告し、その都度熊木ガバナーよりの確かなアドバイスをいただき充実した内容となりました。終盤には事前にアンケートを取り会員より提出いただいた質問事項に対し新入会員を代表質問者に選任し、ガバナーより回答をいただきました。

熊木ガバナー、記憶に残る素晴らしい公式訪問をありがとうございました。



ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 27 日

大宮西 RC

会長 横溝 一樹 / 幹事 平野 友紀

2025年10月27日、パレスホテル大宮にて熊木雄太郎ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会では、年度直前に急遽就任されたフランチェスコ・アレツォRI会長のプロフィールとメッセージの紹介に始まり、地区の運営方針や目標達成に向けた具体的な取り組みについてご説明を賜りました。クラブの会長方針にもお言葉をいただき、大変うれしいサプライズとなりました。

例会終了後は、会員を交えてクラブ協議会を開催し、地区の取り組みやクラブ運営上の課題などについて率直な意見交換を行うことができました。普段なかなか伺うことのできない地区運営に関するお話も多く、有意義で実りある機会となりました。

改めて熊木ガバナーをはじめ、真中ガバナー補佐、福永地区幹事・岡部地区副幹事の皆様に厚く御礼申し上げます。



ガバナー公式訪問

2025 年 10 月 30 日

吉川中央 RC

会長 立澤 利夫 / 幹事 植木 淳一

10月30日(木)熊木雄太郎ガバナー、若盛圭恵ガバナー補佐、田中健裕地区副幹事、をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

協議会では、熊木ガバナーにクラブの現状を聞いて頂き、より良いクラブにするためにどうしたら良いかみんな話合いました。クラブの活性化、会員増強に向けて「入りやすいクラブにするにはどうしたら良いか」等、今後のクラブ運営に役立つヒントをたくさん教えて頂きました。

また10月に入会した古川将士会員へ熊木ガバナーからバッジを付けて頂き入会式も行うことが出来き、有意義な一日となりました。



TOPICS

社会奉仕部門『サイバーセキュリティ・セミナー』開催

2025年10月21日

アサヒビールホールディングとアスкулへのサイバー攻撃が話題になっている中、10月21日(火)に社会奉仕部門『サイバーセキュリティ・セミナー』を浦和コミュニティーセンターにて開催しました。

インターネットの活用が必須の日々ですが、便利さと裏腹に多くの犯罪が潜んでいます。情報漏洩や詐欺等から生活や経営を守るため、埼玉県警察本部サイバー局サイバー対策課の方を講師として招きました。60人ほどの参加者と熊木ガバナーにも出席していただきました。

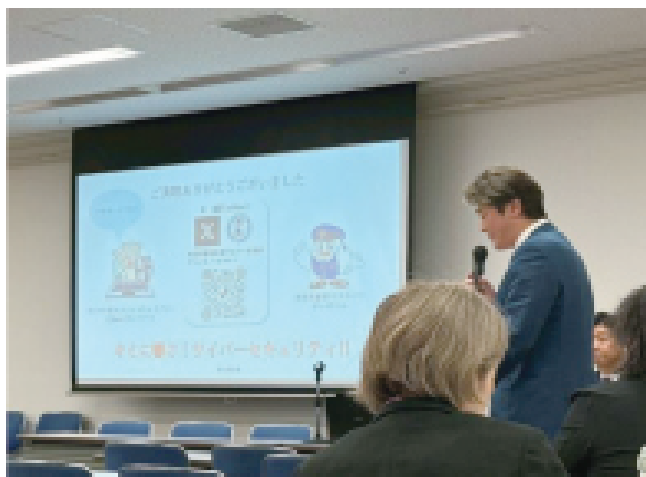
内容はサイバー犯罪の大きな種類とその具体的な犯罪手口を映像も交えて紹介していただきました。そして、すぐに取り組めるサイバーセキュリティをわかりやすく解説していただきました。経営や生活に役立つ知識が豊富なセミナーとなりました。参加者からは多くの感謝の声をいただきました。事業継続のBCP対策として、サイバーセキュリティが大切であることも認識でき、有意義な講座となりました。

事業が上手く継続しなければ、結果的には社会に大きなダメージを与えます。各ロータリークラブでも是非、「サイバーセキュリティ」について卓話を取り入れたり、地域の人々にワークショップを開催したりと、社会奉仕の一つとして活用して頂けたら幸いです。

尚、社会奉仕部門に問い合わせいただければ、埼玉県警察本部サイバー局サイバー対策課にお繋げいたします。

3月11日(水)に東日本大震災から15年目となります。社会奉仕部門ではこの日夜に「防災セミナー」を開催いたします。新しい形の社会奉仕活動を提案していきますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

社会奉仕部門委員長 三井由美子(浦和東RC)



TOPICS

ピンクリボンオンラインウォーク&ラン in 埼玉 開催報告 ピンクリボンウォーク in 戸田・蕨・川口

恒例となりましたオンラインによるピンクリボン啓発活動「ピンクリボンオンラインウォーク&ランin埼玉」(国際ロータリー第2770地区共催)を開催いたしました。今年も、5kmコース、または42.195kmコースのどちらかを選択し、乳がん月間期間中に専用アプリを起動して選択した距離を完歩・完走する企画です。ピンクリボン運動では全国初のオンライン啓発イベントで5年目を迎え、定員4,000名を達成し、どこでも、だれでも気軽に「ランニング」や「ウォーキング」が楽しめるイベントで啓発してまいりました。エントリーをすると、山田邦子さんたち芸能・スポーツ界から乳がん啓発メッセージが視聴でき、距離達成の際には、アプリに完走証が届きます。参加賞のほか、抽選で当たるプレゼントが贈呈。完走・完歩後は、乳がんを学ぶ動画を視聴し、乳がんについての認識を深めていただきました。



また、10月25日(土)は、「ピンクリボンウォークin戸田・蕨・川口」(第12グループ主催)を開催いたしました。当日は、国際ロータリー第2770地区ガバナー熊木雄太郎様、埼玉県保健医療部疾病対策課課長鈴木久美子様のご臨席され「ピンクリボンオンラインウォーク&ランin埼玉」にエントリーされた方を含む396名の市民が参加し啓発してまいりました。戸田・蕨・川口各地点からスタート、戸田中央総合健康管理センターをゴールとし、約5kmをウォーキング、ゴール会場では、戸田ローターアクトクラブの看護学生たちがドーナツ・飲料・エコバック等の参加賞を配布、温かいコーヒーを振舞われました。また、乳がんパネル展示、看護師や看護学生による自己検診体験や疑似乳房触診体験で乳がんの正しい知識を深めていただきました。



小雨の為、ピンクリボンチャリティーセレモニー会場を施設に移動し、ピンクリボンフラダンスショー、TOSHIマジックショー、タレントのダンカンさん、俳優の虎太郎さん、乳がんサバイバーの大庭有貴さん3人によるトークショーでは乳がんの大切さを改めて知ることができました。最後は恒例の「QUEEN OF THE UNIVERSE」によるファッションショー&抽選会ではタレントのギャオス内藤さんが登場、会場を盛り上げて盛会に終わることができました。



今後もひとりでも多くの方が乳がんを命を落とすことがないよう、埼玉県全域の乳がん検診率アップを目指して、引き続きピンクリボン運動に取り組んでまいります。



ピンクリボンウォークin戸田・蕨・川口の様子



蕨のケーブルテレビにて当日の様子が紹介されました。

TOPICS

「ポリオ根絶チャリティー スーパーカーツーリング」開催

2025年10月26日

令和7年10月26日(日)、第2570地区(埼玉西北)との共催により「ポリオ根絶チャリティー スーパーカーツーリング」が開催されました。

ロータリーが長年取り組むポリオ根絶活動を、より多くの方に知っていただくこと、支援の輪を広げることを目的に、スーパーカー愛好家のロータリアンの皆様の協力のもと開催しました。



当日は小雨が続くあいにくの天候となりました。事前には約70台のエントリーをいただいていたものの、天候の影響で参加台数は若干の減少。それでもスタート地点の本庄運動公園には、フェラーリ、ランボルギーニ、レクサスLFA、ポルシェなど、希少車種を含むスーパーカーが次々と集まり、結果として40台以上が並ぶ迫力ある光景となりました。

各車体には、ポリオ根絶への取り組みをPRするために「End Polio Now」のロゴを掲出しました。各参加者は安全運転で走行し、走行中も沿道の方へ向けてメッセージを発信しました。珍しいスーパーカーが通過する際には、足を止めて見る方や写真撮影する方も見られ、ポリオ根絶活動を知っていただく“きっかけ”となりました。

ツーリングは午前10時過ぎに本庄運動公園を出発。小雨の埼玉の美しい秋景色の中を秩父方面へ走行。各参加者はロータリアンらしく安全運行を徹底し、午前11時30分過ぎには目的地である秩父ミュースパークに無事到着しました。

参加者の皆様の走行マナーとご配慮により、終始落ち着いた企画となりました。

秩父ミュースパークに到着した後は、正午からパーク内のBBQ場にて懇親会を開催。熊木ガバナーによる開会のご挨拶に続き、共催者である第2570地区の五十幡和彦直前ガバナーによる乾杯のご発声でBBQがスタート。両地区のロータリアンの皆様の走行の感想を語り合いながら交流を深め、ポリオ根絶という共通の目標に向けた絆を強める機会となりました。



熊木ガバナーは、埼玉新聞の取材に対し、本企画について「スーパーカーという人々の関心を集める題材と、ポリオ根絶というロータリーの使命を結び付けた企画は、第2570地区との協働により実現した。多くの方に取り組みを知っていただく貴重な機会となった」と回答。さらに、「ポリオ根絶は、ロータリーが世界で長年にわたり取り組んできた最優先課題の一つ。今回の事業を一過性のものにせず、今後も他地区と連携しながら発信していきたい」と、継続的な啓発への意欲を示されました。

ポリオ根絶は、あと一步のところまで進みながらも、継続した支援と関心が不可欠な取り組みです。今回のツーリングは、寄付や支援だけでなく、地域の方々に活動を「知っていただく」点に大きな意味がありました。ご参加・ご協力くださったスーパーカー愛好家の皆様、運営に尽力された関係者の皆様、そして沿道や会場で温かく見守ってくださった地域の皆様に、心より御礼申し上げます。

TOPICS

会員増強維持部門・職業奉仕部門合同座談会

「いまこそ仕事の話をしてしよう ～語らずにいた仕事のことを」

2025 年 11 月 1 日



去る11月1日(土)、ベルヴィ武蔵野にて、「いまこそ仕事の話をしてしよう」と題して、ロータリアンとして仕事について、どのように向き合っているのかを話し合う座談会を行いました。これは、私がガバナーに職業奉仕部門委員長を任せられた際に、職業奉仕を通じてロータリーの楽しさが分かるようなイベントを地区大会までにやってほしい、という宿題を頂戴したことのアンサーになるのですが、ロータリーの楽しさが分かれば会員維持にもつながるに違いないということで、会員増強維持部門の渡辺部門委員長にお声がけて、2部門合同で開催させていただきました。



「ロータリーの職業奉仕(Vocational Service)は『Vocation(天職)』を通じた社会への奉仕です。そのためには、ロータリーという居場所で異業種の仲間と交流し、自身の仕事への理解を深め、自分の存在価値を確認することが大切です。それは、人格や品性を育むことにもつながります」

この言葉は、先日102歳で亡くなられた、裏千家第15代家元・千玄室さんが、100歳になったときに、ご自身が所属する京都ロータリークラブでお話になられたお言葉なのですが、ガバナーがご希望されていたこととまさに同じだと感じました。この言葉に倣って、座談会には定員より多い82名もの出席者とともに楽しく交流を持つことが出来ました。このように盛会にできたのは、会員増強維持部門の皆様の尽力の賜物です。座談会では、それぞれ自らの仕事に誇りを持つロータリアン4名とローターアクター1名にパネリストをお願いしました。辻本職業奉仕委員長の司会のもと、和やかに会は進行了しました。看護師をしている26歳のローターアクターのパネリストは、終末期の医療の現場では、また次の予約で、と言っても、急に亡くなられてしまうことはめずらしくないので次はないかもしれない、なので、彼女は、診療の最後に自分が患者さんに言う「お大事に」の言葉はいつも本当に心を込めて言うようにしている、という言葉に、彼女よりだいぶん大人の我々も、仕事に対する考えや自らを振り返るきっかけをもらったような気がいたしました。また、基調講演では、ゲストのメイクアップアーティストのイガリシノブさんの軽妙な語り口ながら、ずっと仕事があるとは保証されてない業界で生き残るための努力などをお聞きし、そのあとの懇親会も含めて、ご参加の皆様にはご好評の中、終えることが出来たと思います。

会員増強維持部門との合同開催ということで、委員会同士の交流ができたことも楽しい経験でした。ご出席の皆様、委員の皆様、本当にありがとうございました。尚、年度内にもう一度座談会ができるか、現在検討中です。

会員増強維持部門委員長 渡辺正文(戸田RC)
職業奉仕部門委員長 請川かおり(川口RC)

TOPICS

ガバナーノミニーマニ・デジグネート紹介

前島 昌文（まえしま まさふみ） 桶川 RC

生年月日 1967年2月17日

勤務先 株式会社前文恆産

職業分類 不動産賃貸業

**【経 歴】**

1986年 Henry D.Sheldon High School 卒業

1988年 学校法人神田外語学院国際ビジネス課 卒業

1990年 株式会社前文恆産 入社

2005年 株式会社前文恆産 代表取締役就任

【ロータリー歴】

2008年 桶川ロータリークラブ入会

2013年～2014年 クラブ幹事

2014年～2015年 クラブ会長

2015年～2016年 クラブ会長

2017年～2018年 地区副幹事

2018年～2019年 地区ロータリー財団部門・財団奨学・平和フェロー・学友委員会委員

2019年～2020年 地区ロータリー財団部門・財団奨学・平和フェロー・学友委員会委員

2024年～2025年 第5グループ ガバナー補佐



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 新保 清久（新潟万代 RC）

第 1 地域ロータリー財団コーディネーター補佐の新保清久（第2560地区・新潟万代 RC）です。新井和雄 RRFC の補佐として職務を務めて半年過ぎましたが、地域リーダー会議やロータリー財団の委員長会議、ロータリー研究会、ロータリー財団地域セミナー等に参加して最新の情報を学んでまいりました。あらためてロータリーの発展には、ロータリー財団の拡充が欠かせないことを確認しました。

さて、年度初めに寄付金について新井 RRFC から会員に寄付の目標達成のお願いをするよりも、まずはロータリー財団のインパクトを伝えるように指示がありました。地区補助金やグローバル補助金を活用して地域や世界で実施するロータリーの奉仕活動は、寄付してくれた「あなたのおかげです」と会員にサンキューレターなどで感謝の意を表する活動を地区、クラブで広めるようにと指示を受けました。



近々に担当する4地区のロータリー財団委員長さんと会議を開催して、各地区のロータリー財団セミナーなどで寄付者にもっと感謝が伝わる取り組みと寄付金ゼロクラブゼロや寄付状況の確認等々情報交換をしたいと思います。併せて2013 年度から始まりました世界のポール・ハリス・ソサエティ（以下 PHS）の会員数は、会員全体の約2%にもかかわらず、年次寄付の 22%、恒久基金を含めた財団寄付全体の 20%を占めていることから PHS 会員の拡大に注力することやまた恒久基金の前年度の運用益が 12%であり死んだ後でも財政的に社会貢献できる恒久基金への寄付を促すこと、DDF（地区財団活動資金）の繰越金は、地区の恒久基金として設立可能であること等も周知していきたいと思います。

小生は、今から30数年前にロータリークラブに入会した際に先輩からロータリー財団は、毎年100ドルを寄付すればよいと教えられたくらいの理解でしたが、図らずもガバナーになり、その後、地区ロータリー財団委員長に就任しまして、各クラブにもっと分かりやすく、身近なロータリー財団を目指して、委員会の人事や地区補助金の支給基準を見直しました。その効果は、地区補助金の申請件数が一挙に 3 倍になり、現在も約 70%以上のクラブが地区補助金やグローバル補助金を申請して奉仕活動に活用しています。

また前年度に第 2560 地区では、地区補助金の申請・報告を電子システム化して申請フォーマットに記載することで補助金委員会ははじめ関係部署の負担を減らすことができました。情報の共有化と入力ミス、添付漏れの自動チェックにより経験のない会員でも正確に申請書・報告書の作成が可能となり作業時間が削減されて大いに効果を発揮しています。最後になりますが、時代に追いつき適応しようとしているロータリーを支えるロータリー財団の理解者、協力者をもっと増やすために様々な仕方があると思いますので関係各位のご教授をいただき任務を務めて参りたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。



笑いあり、涙あり「3つの手法」を熱演

第2地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 樋口 明（神奈川 RC）

第2地域では、若林 英博 RMC が提唱された「3つの手法（戦略的オープン例会・衛星クラブの設立・クラブ独自の会員種）」の実践を強力に推し進めております。

1.戦略的オープン例会（ロータリーの友 2025年8月号 P10,11 参照）：会員増強は総論だけでは机上の空論に過ぎず、緻密に計画しクラブ一丸となって取り組むという泥臭さこそ重要であります。戦略的オープン例会は、会員増強の面が強調されがちではありますが、実は会員維持の側面が強いものです。ゲスト（会員候補者）の情報を事前に共有し、会員全員が役割分担をしてゲストを温かく迎えるためには、クラブ全員で取り組まなければならない、それにより結束力が高まり、大いに盛り上がり、活性化に繋がることになります。

2.衛星クラブの設立：柔軟で参加しやすく自主的に運営ができることが、最大の魅力です。「元会員」、「会社の仲間」、「趣味の仲間」、「同窓生」、「地域の仲間」、「奉仕活動の仲間」など、さまざまなつながりから創ることができ、衛星クラブは、無限の可能性を秘めています。

3.クラブ独自の会員種別：心の底からロータリーが大好きな方に、手を差し伸べる仕組みです。「シニア」、「家族」、「Web」、「法人」、「準会員」、「ユース」など。常日頃より会員のことを第一に考えていれば、自然とアイデアが湧いてくるはずです。

皆様のご記憶に新しいことと思いますが、昨年11月19日、20日に横浜で開催されました【第54回ロータリー研究会】の第1セッション「もっと元気なクラブになろうー増減カーブを前年より上向きに」では、3つの手法を体現する寸劇をご披露しました。企画立案、シナリオ、キャスティング、演技指導等々、総監督である若林 RMC の思いが込められた名作でありました。迫真の演技をご披露くださいました俳優陣の皆様には、心より御礼申し上げます。

（写真左：白鳥敬日瑚 ARMC 写真右：黒川伸一 ARMC）



また、第3セッションの「退会防止とクラブの持続的成長」では、2024-27年度 RI 会員増強委員会の岩澤あゆみ委員（RID2780 茅ヶ崎 RC）にご講演いただきました。

【ロータリーの未来は「居場所づくり」から始まる】

Connection Purpose Growth
心がつながるクラブは、会員が育ち、人が集まり、未来へと続く。

行動しなければ、何も変わりません。

まずは、やってみましょう！



謹賀新年

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 谷 宗光(和泉 RC)

親愛なるロータリー会員のみなさま。

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

私たちロータリー会員は、2026 年も四つのテストに照らし、

・真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなのためになるかどうかを
心にたずさえて、地域社会や世界のさまざまな問題解決のために、人道的奉仕活動を行い、
高い倫理基準の措置と、人間形成のために日々精進して参りましょう。



さて、私たちロータリー公共イメージコーディネーターチームでは、昨年も10月の「世界ポリオデー」を前面にPRし、同時にロータリーの知名度向上のために、日本経済新聞(10月18日)に一面広告を掲載させて頂きました。

それと時を同じくして全国の各クラブ・各地区で、開催して頂いております、様々なイベント活動の記録にあたる「ポリオ根絶フォトコンテスト」の募集もさせて頂きました。ロータリーは長年にわたりポリオ(小児まひ)の根絶に対し支援して来ており、ワクチン提供や啓発活動を続けています。その活動の一コマの写真は、どの作品も、「見る人に感動を与え、ポリオ根絶への願いを伝える一枚」となっていました。その選考は、単なる集合写真ではなく「想い」「ストーリー性」「メッセージ性」を重視させて頂きました。

そして応募総数 194 件がエントリーされ、地域リーダーの皆様の厳正なる投票で、194 件から 8 件を入選作とさせて頂き、その 8 件の中から RI 会長賞、RI 理事賞等の各賞を決定させて頂きました。

- ・RI 会長賞 2790 地区 富里 RC
- ・TRF 管理委員長賞 2820 地区 水戸 RC
- ・RI 理事賞-1 2690 地区 松江南 RC 理事名：スーザン・ステンバーク
- ・RI 理事賞-2 2500 地区 釧路北 RC 理事名：サルバドル・リッツォ・ダバレス
- ・水野 RI 理事賞 2720 地区 熊本中央 RC
- ・辰野 TRF 管理委員賞 2790 地区 千葉西 RC
- ・四宮 RI 理事エレクト賞 2790 地区 千葉 RC
- ・中谷 RI 理事エレクト賞 2820 地区 北茨城 RC

応募いただきました皆様本当にありがとうございました。

今年も引き続き、この事業は行われる予定だと伺っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



1 世話クラブに入会 — 受けた恩を次世代に —

24,000人を超えた米山学友の中には、ロータリークラブに入会し、積極的に奉仕活動を行う学友がいます。今回は、そのひとりである金相均さん（韓国／2011-13／静岡RC）に、これまでの歩みと想いを語っていただきました。

— 米山奨学生時代を振り返って

多くの方々に温かく支えていただきました。例会参加を通じ、日本の文化や価値観に触れる中で、「与えられる側から社会へ返す側へ」という心構えを学びました。奉仕の精神に触れ、私も誰かのために行動したいと強く感じました。

— ロータリークラブ入会から現在まで

受けたご支援への恩送りを形にしたいと考え、会社員から個人事業主となった際に「子どもの未来を守り、無限の可能性を広げる」という理念を掲げました。そこで、社会貢献への思い、自分自身を成長させたいという願いが重なり、世話クラブである静岡RCに入会しました。現在は例会や奉仕活動、卓話などに積極的に参加しています。

— 米山奨学事業に対する景色の変化

奨学生時代から大きく変わりました。当時は「支援していただく側」という意識でしたが、



静岡北 RC で卓話した金さん(右)

会員になると、あの頃には見えなかった多くの努力を目の当たりにしました。奨学生の選考、世話クラブの準備など、奨学生のために動いている姿を知り、事業の重みと尊さを改めて感じました。今では「支援を受けた経験を次世代につなぐこと」を意識し、活動しています。

— 米山学友のロータリー会員として

奨学生に寄り添い、相談しやすい先輩であること。寄付は義務ではなく「未来への投資」と伝えること。奨学事業の力を自ら体現することを大切にしています。今後は「国際理解と友情の架け橋になること」を目標に、奉仕プロジェクトにも主体的に関わり、地域と世界のために行動できる会員を目指していきます。子どもの未来を守る活動にも力を入れていきたいと考えています。

2 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

-6.9%

普 -1.5% 特 -9.5%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて6.9%減（普通寄付金：1.5%減、特別寄付金：9.5%減）、約4,500万円の減少となりました。

した。当月は匿名を含め7件の大口寄付がありました。今年も残すところ半月ほどですが、12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年1月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早目にご送金くださいますようお願いいたします。



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末日までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日（火）当会着金分までが対象

米山記念奨学会事務局は、12月27日（土）～1月5日（月）の間休業させていただきます。来年は1月6日（火）より通常業務となります。



3 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催

2026-27 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第 1 回セミナーを 12 月 1 日、都内ホテルで開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、神野重行常務理事の講話から始まり、事務局から学務・学友関連について説明。そして、危機管理につ



いて吉田知弘常務理事からお話いただいた後、事例発表として、第 2650 地区の片山隆永委員長から年間の流れや危機管理対応等について発表していただきました。

午後の部では、事務局から広報、寄付について説明。続いて第 2700 地区の事例発表として、尾畑和隆次期委員長より寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後 4 グループに分かれて各地区における課題などについてのディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實副理事長の講評で締めくくられました。

4 来年の年賀状は学友がデザイン

当財団では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山記念奨学委員長、米山奨学生、日本在住の米山学友などへ毎年年賀状を送っています。

午年となる 2026 年の年賀状は、女子美術大学美術専攻洋画研究領域博士課程を修了した中国出身の米山学友、^{サブンティ}查雯婷さん（2022-24／相模原南 R C）のデザインです。お手元に年賀状が届いた方は、じっくりとご覧ください。

< 查雯婷さんより >

縁起の良い動物である馬と、私の創作テーマである反転した猫の頭を融合させた作品です。「成功」

や「飛躍」を象徴する馬に、視点を反転させる猫の要素を加え、新たな一年に向けてお世話になった方々と新しい学生たちへ、感謝と応援の気持ちを込めました。「2026」の数字は、巳年の蛇をモチーフにし、巳年から午年へのバトンタッチを表現しています。



上海米山学友会 総会開催のご案内

◇2026 年 1 月 17 日（土） 16:30～20:30

◇会場：上海市内（申込終了後に決定）

◇申込先：alumni@rotary-yoneyama.or.jp

※12/24（水）申込締切

[要記載事項] 代表者氏名、その他参加者氏名（全員分）、クラブ名、連絡先（メールおよび電話番号）

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限 2 人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。国内在住の学友には 25 万円、海外在住の学友には 35 万円を上限に、補助いたします。

詳細はこちら



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/

編集担当：長尾（ながお）

2025-2026 年度 11 月 会員数報告

クラブ名	2025年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
浦和	101	4	104	3	3	5	6
浦和東	99	15	99	15	0	3	2
浦和南	24	2	25	2	1	3	1
浦和中	33	5	32	4	-1	3	0
浦和ダイヤモンド	21	3	21	3	0	4	0
第1グループ計	278	29	281	27	3	18	9
浦和北	57	4	57	4	0	10	1
さいたま中央	41	2	41	2	0	10	1
さいたまシティ	21	1	21	1	0	5	0
浦和北東	42	3	42	3	0	5	0
さいたま新都心	33	0	33	0	0	5	0
第2グループ計	194	10	194	10	0	35	2
大宮	55	2	56	2	1	5	3
大宮南	35	8	35	7	0	2	2
大宮中央	34	4	36	5	2	18	2
大宮シティ	39	4	40	4	1	8	2
さいたま樺	30	4	30	4	0	3	0
さいたま大空	13	5	15	7	2	2	2
第3グループ計	206	27	212	29	6	38	11
大宮西	113	17	116	18	3	8	4
岩槻	25	3	26	3	1	5	1
大宮東	37	2	38	2	1	5	1
岩槻東	21	3	21	3	0	3	0
大宮北東	8	1	9	1	1	4	1
第4グループ計	204	26	210	27	6	25	7
上尾	33	0	33	0	0	3	0
鴻巣	21	4	19	4	-2	2	0
桶川	20	0	21	0	1	2	1
上尾西	31	3	32	3	1	3	2
北本	5	1	6	1	1	3	1
上尾北	20	0	24	0	4	3	4
鴻巣水曜	25	0	27	0	2	5	2
桶川イブニング	24	3	26	4	2	3	2
鴻巣イブニング	21	2	26	4	5	5	5
第5グループ計	200	13	214	16	14	29	17
春日部	26	2	26	2	0	2	1
杉戸	33	3	32	3	-1	3	0
春日部西	26	1	26	1	0	3	1
春日部南	27	0	27	0	0	3	1
春日部イブニング	41	2	42	2	1	4	1
第6グループ計	153	8	153	8	0	15	4

ローターアクトクラブ

クラブ名	7/1会員数	当月末	増減	クラブ名	7/1会員数	当月末	増減
大宮	2025年7月より休会			大宮南	11	11	0
浦和北	12	15	3	蓮田	5	5	0
獨協大学	4	5	1	川口/鳩ヶ谷武南	11	17	6
大宮東	3	3	0	戸田中央看護専門学校	123	123	0
文教大学	5	10	5	川口モーニング	7	7	0
共栄大学	54	55	1	大宮西	6	11	5
川口	13	13	0	ローターアクト計	254	275	21

クラブ名	2025年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
幸手	22	1	21	1	-1	3	0
蓮田	43	3	43	3	0	3	0
久喜	50	7	50	7	0	3	1
幸手中央	13	1	13	1	0	1	0
第7グループ計	128	12	127	12	-1	10	1
越谷	92	6	96	8	4	5	5
越谷南	37	4	40	4	3	6	4
越谷北	48	2	52	2	4	3	4
越谷東	74	5	77	5	3	5	4
第8グループ計	251	17	265	19	14	19	17
八潮	23	2	23	2	0	2	0
八潮イブニング	10	0	10	0	0	3	0
八潮みらい	17	1	18	1	1	2	0
草加松原	35	3	37	3	2	9	1
草加シティ	17	6	12	4	-5	5	2
第9グループ計	102	12	100	10	-2	21	3
三郷	30	4	32	5	2	2	0
三郷中央	19	2	18	2	-1	3	2
松伏	18	2	19	2	1	2	2
吉川中央	14	3	17	3	3	3	0
第10グループ計	81	11	86	12	5	10	4
川口	88	18	87	17	-1	5	1
鳩ヶ谷	14	0	14	0	0	10	3
川口東	23	3	23	3	0	6	2
川口/鳩ヶ谷武南	22	3	25	3	3	2	0
川口モーニング	30	2	32	2	2	5	0
川口南	15	4	16	4	1	2	3
川口シティ鳩ヶ谷	6	2	6	2	0	2	2
第11グループ計	198	32	203	31	5	32	11
戸田	50	7	54	7	4	10	1
蕨	15	2	17	3	2	2	0
川口西	11	0	11	0	0	2	6
戸田西	18	1	21	1	3	2	2
川口北	28	1	31	3	3	5	0
川口中央	11	1	11	1	0	1	3
川口むさし野	19	4	19	4	0	2	3
第12グループ計	152	16	164	19	12	24	15
地区合計	2147	213	2209	220	62	276	101
参考: 2024年当月地区合計	2200	204	2273	220	73	184	103

ロータリークラブ数	66RC
2025年当月末会員数	2209人
ローターアクトクラブ数	13RAC
2025年当月末会員数	275人
RC+RAC会員数	2484人